

九州における高速交通網の整備促進等について

九州部会提出
説明担当 諫早市

九州地域全体の産業・経済の発展と生活文化の向上を図り、多極分散型の国土形成を促進するためには、高速交通網の整備充実が不可欠である。

中央経済圏から遠隔の地にある九州においては、本州方面及び九州内各地を結ぶ高速交通網の整備が総体的に遅れており、このことが九州の発展を阻害する要因ともなっている。

九州の高速交通網の早期完成は、九州域内のみならず、本州との産業、経済の交流が促進され、地域の医療、防災等の住民生活の安定が図られるなど、多大な波及効果をもたらし、九州地域の一体的発展に貢献するものと期待されている。

よって、国においては、九州地域の一体的発展を図るため、下記事項について速やかに実現されるよう強く要望する。

記

1. 九州新幹線西九州ルートに着実な整備及びJR在来線の輸送改善を行うとともに、東九州新幹線の整備計画路線への格上げを行い、所要の整備財源を確保すること。
2. 高規格幹線道路（東九州自動車道、西九州自動車道、九州横断自動車道長崎大分線、九州中央自動車道、南九州西回り自動車道）及び地域高規格道路等の建設促進、早期全線整備を図ること。
3. 九州西岸軸構想の中核となる島原・天草・長島架橋構想の早期実現に向けた所要の調査の実施を図ること。
4. 沖縄県の均衡ある発展と慢性的な交通渋滞の緩和を図るため、沖縄本島を南北に縦断する鉄軌道を含む新公共交通システムの早期導入を図ること。
5. 地方における道路整備を着実に推進するため、道路財特法の補助率等の嵩上げ措置については、平成30年度以降も現行制度を継続すること。